

地域に開かれた信頼される学校づくり

～笑顔でつながる末武中学校区をめざして～

【下松市 末武中学校区】

地域の概要

末武中学校区は近年、大規模な商業開発と宅地開発が急速に進み、流入人口が極めて多い地区です。このため、今後もさらに児童生徒数が増加し、平成 30 年には末武中学校の生徒数が 1,000 人に迫る本県随一の大規模校となります。また、校区も広く、約 6 割の生徒が自転車やスクールバスで通学しています。

各小学校は校区に公民館があり、地域と連携した学校づくりを推進しています。

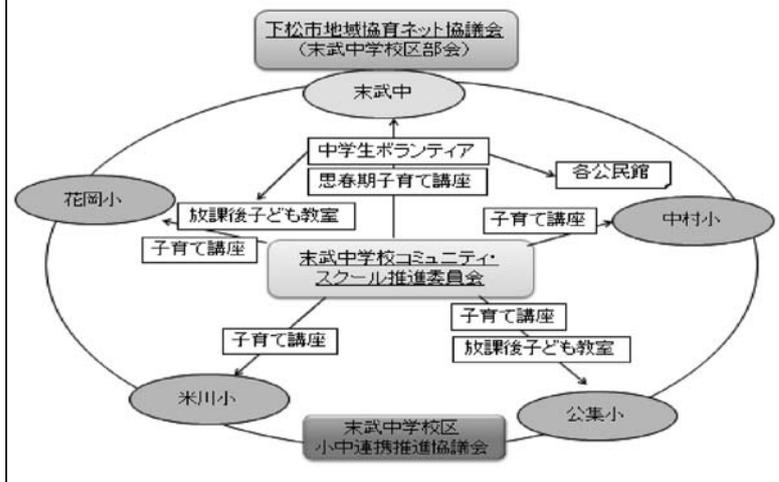
人 口	29,165 人	
世 帯 数	12,489 世帯	
対象校及び 児童生徒数	末武中学校	766 人
	公集小学校	685 人
	花岡小学校	853 人
	中村小学校	296 人
	米川小学校	18 人

組織の内容

下松市では、平成 24 年度に「下松市地域協育ネット協議会」を設立し、地域の参画による教育支援体制づくりを促進する方法を協議し、家庭や地域の教育力を活性化するための事業を行っています。また、本協議会は市内三つの中学校区に分かれた部会を設けており、昨年度まではこの部会を「地域協育ネット」の推進母体として、地域の特性を生かした取組について検討してきました。

今年度、末武中学校は平成 28 年度の学校運営協議会設置に向けて、コミュニティ・スクール推進委員会（以下、推進委員会）を設置しました。保護者代表、地域代表、学識経験者、関係行政機関、学校関係者で推進委員会を組織し、コミュニティ・スクールの導入及び運営について必要な事項を検討するとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりに向けた教育活動を推進しています。今年度からは、推進委員会を末武中学校区「地域協育ネット」の推進母体とし、中学校区を一まとまりとした体制づくりに取り組んでいます。

末武中学校区地域協育ネット



末武中学校CS推進委員会

地 域 代 表	5 人
保 護 者 代 表	6 人
小 学 校 長	4 人
行 政	2 人
教 職 員	5 人

特色・重点的な取組

校区の各小・中学校が「めざす児童生徒像」をもとに、末武中学校区の「めざす子ども像」について、推進委員会で協議しました。その結果、「元気よく笑顔であいさつする子」に決定しました。

このスローガンは小学生にもわかりやすく、また、子どもたちの行動を評価しやすいと地域の方々にも好評です。のぼり旗を作成し、各学校はもちろん、公民館等にも掲げて、中学校区での取組を地域に発信しています。



主な活動の紹介

○小中連携

校区内の小・中学校と「末武中学校区小中連携推進協議会」を組織し、児童生徒の学力や学習・生活習慣の課題解決に向けて共通理解を図り、小中共同実践事項に取り組んでいます。また、小中連携教育の一環として、中学校の教員が校区内全ての小学校で出前授業を行い、中1ギャップへの対応や、小中教員相互の授業参観を通して授業力の向上を図っています。

○中学生ボランティア推進事業

末武中学校はボランティア活動が盛んで、生徒が休日に公民館主催の行事や、地域の福祉施設などで活動しています。また、「はなおか放課後子ども教室」は、毎回中学生ボランティアとスタッフが協力して、小学生の体験活動をサポートしています。

中学生ボランティアの活動は、地域行事の運営スタッフの確保というだけにとどまらず、地域の活性化、まちづくりにも貢献しています。また、子どもたちの自己肯定感を育むなど、青少年健全育成の観点からも大きな成果をあげています。

○あいさつ運動

推進委員が二組に分かれ、毎月1日、11日の7:30～8:00に末武中学校の正門前であいさつ運動を行っています。生徒と推進委員の交流の場となっていて、お互いがすがすがしく1日のスタートを切ることができています。

○学校支援ボランティア

毎年夏休みに実施しているPTA主催の環境整備に学校支援ボランティアとして、11名の地域の方が参加されました。生徒と会話を交わしながらともに汗を流し、学校をきれいにしてくださいました。また、特別支援学級の生徒が、地域の方に指導していただき、校内の畑でサツマイモを育てました。収穫したサツマイモは、文化祭のバザーで販売しました。



中学生ボランティア



あいさつ運動



環境整備



サツマイモの収穫

成果と課題

これまで地域とのつながりがあまりなかった末武中学校ですが、今年度は「学校や子どもたちのために何かしたい」という思いをもった地域の方々が、少しずつ学校に来られるようになりました。また、ボランティア活動を通して生徒も地域で活躍しました。

地域とのつながりを更に強いものにするために、幼保との連携を含めた新しい取組を実践し、笑顔で元気のよいあいさつが飛び交う末武中学校区にしたいと考えています。

今後の取組

下松市地域協育ネット協議会では学校支援がスムーズにできるように、平成26年度末までに「学校支援ハンドブック」を作成する予定にしています。これを有効活用しながら、さらに学校支援の輪を広げていきたいと考えています。また、広い末武中学校区で、地域の各団体等との連絡調整ができるコーディネーターの養成にも取り組んでいく予定です。